

那珂市都市計画マスタープラン見直し(案)に対する
意見を募集した結果について

1. 意見募集の概要

① 意見の募集期間

平成27年1月5日(月)から平成27年2月4日(水)まで

② 閲覧及び意見の募集方法

- ・ 那珂市役所都市計画課での閲覧
- ・ 那珂市役所瓜連支所での閲覧
- ・ 那珂市図書館での閲覧

(中央公民館、各地区交流センター8ヶ所)

③ 閲覧等の概要

- ・ ホームページへのアクセス 105件
- ・ 資料の閲覧 5人

④ (案) に対する意見 (コメント)

- ・ 意見 (コメント) 提出件数 : 5人
- ・ 意見 (コメント) 数 : 21件

2. 意見(コメント)の概要及びそれに対する市の考え方

| 意見(コメント)の概要 | 意見(コメント)に対する市の考え方 |
|---|---|
| ○序章計画策定の目的に示された「目標年次の延長」の具体的な理由は何か。 | ○市総合計画・後期計画等との整合目的で改訂(見直し)を行う事から、平成 47 年を目標年次として策定します。 |
| ○序章の後に「見直しの概要」を示してはどうか。 | ○見直しの概要を追記します。 |
| ○当該5年間で発生している課題とその対応方針、目標年次における達成イメージ図、目標年次までに達成させるため優先的に取り組む具体的な内容を示すことが望ましいのではないか。 | ○平成 26 年度までの施策の実施状況は、記載しておりますが、分野別方針の施策評価シートを追記します。また、基本方針を示すものであることから、具体的な数値等で、示すことは難しいと考えております。 |
| ○短期目標となる5年間で達成する主要施策の目標値が示されたマイルストーン(道標)を示しては。 | ○前計画との整合を考慮しながら、計画実現に向けたマイルストーンを追記します。 |
| ○過去 5 年間の成果として、主な施策、プロジェクトの完了日を入れてはどうか。 | ○前計画の施策評価シートを追記します。 |
| ○目指されるコンパクトシティとして、市周辺の地方中枢拠点都市等との連携図、集約化と連携を示したネットワーク図、将来の拡大交通網イメージ図、自治体間の連携ネットワーク図があれば資料として、本マスタープランに引用してはどうか。また、引用した図表には「引用先」と「日付」を付すべきではないか。 | ○本計画でも、人口減少等の社会状況を踏まえ、都市づくりの理念や基本方針等において、コンパクト化や持続性のあるまちづくりを明確化し、コンパクト化と都市内ネットワークの強化を示します。 なお、イメージ図的なものとして、都市づくりの視点に基づく都市構造の考え方を記載しております。 また、資料や図の引用は、できるだけ記載に努めます。 |
| ○防災拠点である施設の将来像、整備方針を市内 5 地域別に示しては。また、防災力を高める自助、共助、公助の必要性についても示してはどうですか。 | ○防災に関する事項は、「那珂市地域防災計画」が基本となります。本計画では、同計画を踏まえ、都市計画施策に係る事項として、災害に強いまちづくりに向けた都市計画施策の推進を示しています。 |
| ○既存の都市機能施設、資源に対するリノベーション方針はどこで示されていますか。 | ○市街地環境の充実に関する方針として、記載しております。なお、公共施設等のリノベーション等については、今後想定される都市再生整備計画等で検討することになります。 |

| | |
|--|---|
| <p>○市内外及び市民目線で分かり易い、関連資料集となった情報である、改訂那珂市都市計画マスタープランダイジェスト版を周知・配付してはどうか。</p> | <p>○都市計画マスタープランの周知については、市報、ホームページで掲載し、各地区の拠点施設等にも、改訂版及び概要版を配布します。</p> |
| <p>○道路のネーミング募集、幹線バイパス道路の整備方針など、街づくりへの参画意識を向上させるような方針展開例まで示してはいかがか。</p> | <p>○道路のネーミングや街づくりへの参加の意識向上等については、貴重なご意見と捉えます。今後の計画の実施、施策等に生かし、より良いまちづくりに役立てます。</p> |
| <p>○各種道路の維持費用や公共施設の集約化、施設運用資金の調達の難しさを勘案すると、「官民連携ファンドの推進方針」「民間利用のための整備方針」「資金をねん出する仕組みづくり」などが重要な展開のキーワードになるのではないか。</p> | <p>○道路維持費は、今後増大し予算確保や公共施設の集約化など課題となっていますので、貴重なご意見と捉えておりますが、本計画では明記できないところであります。</p> |
| <p>○人や自転車などが通る生活道路の整備を基本とした、スマートシティ構想、ブランド化を目指すようなコンパクトシティ構想で、人の目線で街を見て、歩いて楽しめる道路網、「クオリティ・オブ・ライフが高まる街であることを皆が共有できる都市」を目指してはどうか。</p> | <p>○交通ネットワークの充実に関する方針として示しました。本計画では、都市計画道路整備他、公共交通の利用促進や自転車・歩行者ネットワークの充実について、示しております。</p> |
| <p>○図表 I-3 国勢調査による平成 22 年人口(54,240 人)、世帯数(18,889 世帯)図表 I-4 住民基本台帳による同じ年の人口(56,110 人)、世帯数(20,765 世帯)となっている。マスタープランの人口、世帯数はどちらを基本データとして計画されているのか。</p> | <p>○住民基本台帳データによるものに統一します。</p> |
| <p>○住民基本台帳人口と国勢調査人口(常住人口)の使い分けは何か。</p> | <p>○将来人口推計等は国勢調査を使用し、人口の推移、人口動態等は各年の把握が可能であることから、住民基本台帳人口を使用します。</p> |
| <p>○JR 水郡線利用者数は乗車人数のみを利用者とした数値ですか。</p> | <p>○主要駅 1 日当たりの利用者数は、JR 東日本のデータを使用し、乗車人数を使用しております。</p> |
| <p>○自然環境として「県民の森」はあるが、市有林(古徳地内)や民有林などは自然資源と分類し、市有林は面積のみを山林土地(市有財産)としているが、立木を含め周辺の自然環境と絡め、どう維持管理をしていくのか。また、緑化ゾーンとして「県民の森」と清水洞の上公園しかないが、緑化ゾーンを増やす考えはあるか。</p> | <p>○自然環境として記載しているのは、施設整備や市民活動が行われている箇所を記載しました。今後も緑空間の確保・緑化ゾーンの創出に努めます。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>○「地域づくり」、「まちづくり」、「都市づくり」という表現について、「地域づくり」は都道府県に関するもの、「まちづくり」は市町村に関するもの、「都市づくり」は国に関するものと使い分けしているのか。</p> | <p>○地域づくりは、5地域（菅谷、瓜連、神崎・額田、戸多・芳野・木崎、五台）、都市づくりは、都市計画や都市活動に関する事項を示し、まちづくりは、それらを包含したものです。</p> |
| <p>○人口減少が続けば、市政が成り立たなくなるため、人口増加のための施策を第一に掲げ、政策の立案と実行を推進し、若い世代が集えて遊べる場所として、上菅谷駅前通りをはじめ、日常的に若者が集うスポットが必要ではないか。</p> | <p>○人口減少に対する施策の重要性は非常に高いと認識しています。人口減少社会の中で、集約化とネットワーク化による都市づくりを進め、住宅地の確保と居住環境の向上を図るため、市街化区域の基盤整備や都市機能誘導を、市街化調整区域での集落環境の維持、土地利用規制のあり方等について方針を示しています。</p> |
| <p>○高齢者対策として、民間施設が受け入れない低所得高齢者を救うこと、ならびに、幼児と高齢者がふれあいを通じ、幼児には上層教育を、高齢者には生きがいを持つことができることから、各地区に幼児施設と併設した高齢者施設を設置できたら良いが。また、国際社会から取り残されないよう、幼年期からの英語教育の推進。なお、額田城跡に下手に小さな城を建設するより、マスコミを最大限に利用し、戦国映画等のロケ地になれば、雇用や消費が生まれ貴重な財源の創出につながるのではないか。</p> | <p>○頂きました意見を、今後の計画・施策に生かして、日常生活上の利便性や安全性を確保し、地域の協力を得ながら住みたいまちのなるための計画・施策を推進してまいります。 また、実務上は関係部署で検証し、参考とさせていただきます。</p> |
| <p>○市内各地域同士の地域連携強化、都市のコンパクト化のため、南北方向だけでなく東西方向の道路の整備推進をしてはどうか。</p> | <p>○都市ネットワークの構成で、地域及び拠点連携ネットワークのなかで、地域連携軸と拠点連携軸を位置付け、都市内連携ネットワークで市街地間連携や市街地内の骨格となる路線を位置付けております。</p> |
| <p>○地域資源の歴史資源の中に、鹿嶋八幡神社(額田神社)、額田神社山車、光照寺、常鑑院常福寺跡、南酒出城跡を入れてはどうか。</p> | <p>○歴史資源の記載は、那珂市観光協会ホームページで記載されている神社・仏閣・史跡に修正します。なお、各地域の歴史資源等について、地域別構想の中で、示してまいります。</p> |